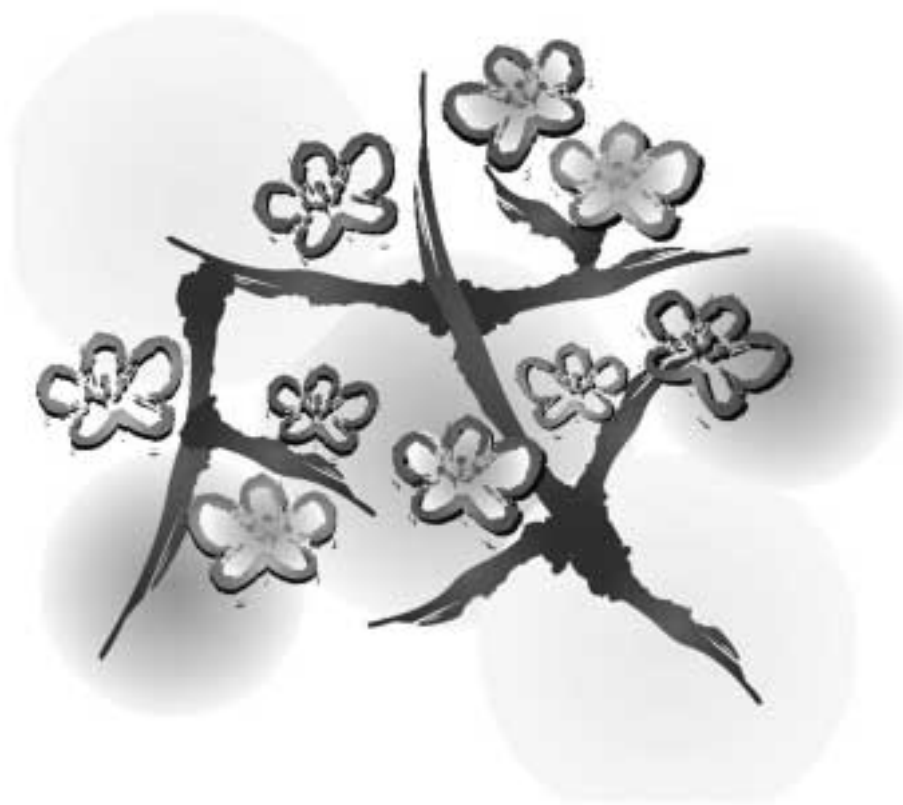




謹賀新年





謹 賀 新 年

計根別農業協同組合

理事兼務金融共済部長	理事兼務参事	監事	監事	代表 表 監	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長理事	代表理事組合長
職 佐	富	澤	須	斉	安	太	漆	鹿	有	西	纈
員 藤	田	田	崎	藤	斉	田	原	野	原	塚	纈
一 良	光				宏			一	国	秀	成
同 文	夫	紘	剛	明	一	誠	功	博	男	夫	喜



苦しくも笑いのある明るい家庭と 地域であることを願って

代表理事組合長 瀬 瀬 成 喜

新年明けましておめでとうございませう。組合員の皆様は、ご家族共々に輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと春先は低温で農作業も十日余りの遅れとなり、とても心配されるところでありましたが、六月からの好天により一番草の生育も回復、収穫作業も順調に進み、質や量共に前年を上回り安堵したところです。しかし、生乳生産は前年からの減産状況は変わらず、十月過ぎからようやく前年並みに回復の兆しが見えてきました。

一方、酪農情勢は悪い陰りが四方八方から近づいております。脱脂粉乳の過剰は相変わらず、さらにはバター在庫も深刻な状態になってしまいました。牛乳の消費も少子化や茶飲料、豆乳等に押され大苦戦しております。

その反面、秋以降は良質な一番草、分娩時期のズレもあり、全道的に生乳生産が予想以上の伸びを見せ、今年度の目標数量一〇二%を超える状況にあります。しかしながら、年度末を控え、厳しい対応を余儀なくされ、ついでに次年度以降の生産計画にも大きな転換を考えなくてはなりません。

この需給状況を踏まえ、次期生産計画も減産という苦汁の選択を全道酪対で決定されたところですが、以前に行った一律減産は北海道酪農にとって、酪農専業地帯の管内にとっても意欲ある担い手育成確保や本道酪農の生産基盤維持の為に絶対避けてなければなりません。生産者の規模拡大志向や縮小志向の経営方向を尊重し、全体のバランスを図る新たな次期生乳生産対策案を正月明け早々にも皆様にご説明申し上げます、生産者

個々の判断を仰ぎたいと思います。

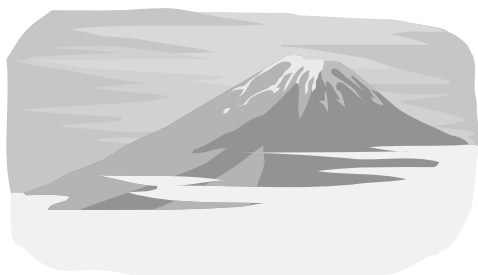
ここ十数年、酪農環境もさまざまな困難もありましたが、生乳生産に関しては順風でした。ここで一息入れて、腕を組み、これまでの酪農、これからの酪農を問う機会を神様が与えてくれたのかもしれない。酪農という産業が短い期間に多くの困難、試練を乗り越えて今日に至っておりますが、まだまだ成長過程の域にあります。

今後環境問題、WTO交渉の行方等厳しい局面が待ち受けています。決して背を向け、逃げていては明るい展望は開けません。この冷たい北風を正面から受け止め、両足をしっかりと大地に踏みしめ、切り切る根性と覚悟が必要であると思います。

今年の干支は戌年ですが、昔から申酉荒れて戌穏やかといいますが、安堵しておりますが、

農協史「あしあと」で十二年前を紐解きますとガット・ウルグアイラウンドが前年十二月に決着し、乳製品等関税化の時代に突入の年でした。また、十月四日は根室地方を震撼させた北海道東方沖地震があり、被害総額九十五億円と記されておりますので、あまり穏やかな年ではなかったようです。

結びになりますが、今年こそ苦しくも笑いのある明るい家庭と地域である事を願わずにいられませう。皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭ご挨拶



新年にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 宮田 勇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先の天候不順で、収穫期の作柄を心配しておりましたが、その後の好天により米、畑作、酪農全般にわたり総じて良好に推移しました。特に米の作況指数は一〇九と大豊作となり収量も過去最高となりました。しかし、米を中心に価格の低迷が続き農家経済は厳しいものとなり、豊作を素直に喜べない状況にあります。そのため、JAグループ北海道は、現在組織を挙げて再生産可能な所得確保対策に全力を傾注して取り組んでいます。

確率期限が四月末までと設定されるなど、交渉は再び厳しく、予断を許さない状況下にあります。北海道農業が日本の食料供給基地としての確固たる地位を築き、食料自給率の向上と消費者への安全・良品質な農畜産物の供給を目指すために、日本農業の存在自体を否定するモダリティ案は断じて認めることができません。今後とも日本提案が認められるよう内外の関係団体との連携を強化し運動を盛り上げていきたいと存じます。

また昨年は規制改革・民間開放推進会議による「信用・共済事業の分離・分割」「独占禁止法の適用除外」などJA組織の存続にかかわる問題が提起されております。引き続きJAに対する道民の理解を深める広報対策を強めてまいりたいと存じます。

さて本年は三年に一度開催される「第二十五回JA北海道大会」が開催されます。二十一世紀における北海道農業・JAが取り組む指針であり、北海道農業が日本の食料供給基地として農業の展開を図るため、食料自給率の向上と消費者への安全・良品質な農畜産物の供給を目指すとともに、JA経営では自己責任に基づく経営の健全化を図り強靱な経営基盤を確立する必要があるとあります。

これまでの社会はひたすら物

質的豊かさを追い求めてきました。その結果、経済効率、企業優先の社会となり資源や環境の破壊をもたらしてきました。しかし環境や資源、安全などが重視されるようになり農業、JAに対する見方も随分変わってきました。競争から共生の社会へ時代は変化しています。いまこそ「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念を全員が意識し「共生の世紀づくり」にまい進しようではありませんか。JAグループ北海道は組合員、JA、地域住民の期待と信頼に応えるためこれからも全力で取り組んでまいります。

最後に、本年は災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。





年頭ご挨拶

皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、この新しい一年がご家族とも健康で穏やかな年となりますようお祈り申し上げます。

当地域では昨年から、台風や地震など天変地異の大きな揺らぎこそなかったものの、皆様のご家族には変わらぬ毎日の生活のなかにも喜びや悲しみが詰め込まれそれぞれに深い感慨を込めて年を越されたことと思います。

多くの組合員の方々と接していますと、春や夏の季節のように富貴に富む歩みの中におられる人の裏側に辛酸の渦中にある姿も思い起こされ、新しいこの年こそ等しく平安であってほしいと願わずにはおられません。

逆境にあるときは総てが思うようにならず、寒い冬の日を過ごすことになるのですが、春の回生のためには厳しい寒さが避けられないことなのかもしれません。

ならば新年がこの寒い冬から始まるということこそ志を堅固



常に目前のことをなせという箴言を胸に、力を蓄える年に酪農冬の時代を乗り切るために

参事 富田 光夫

にする最良の季節ということになるのでしょうか。

折りしも二〇〇五年は、過去にも数度に亘って乗り越えてきた生乳需給緩和による乳製品在庫過剰の問題が大きく酪農乳業界を揺るがし、まさに環境としては冬の時代を迎えた実感があります。

遂に本年からは減産型計画生産に踏み切らざるを得ないこととなり、拡大型生産によって市場対応を図り所得を確保してきたその経営手法の見直し或いは強化を求められ始める一年であると云えます。

昨年策定された新たな食料・農業・農村基本計画においても、農産物の需給や価格決定は市場の動きを尊重することが主柱として貫かれており、消費者ニーズに即した農業生産を推進する農政の大きな流れを汲み取って酪農経営の指針にする必要がでてきました。

制限はあるものの株式会社形態による農業参入も認められたり農産物販売ルート拡大など今まで閉鎖的と批判されていた

農業が急速に自由度が増してきていて多様な経営体が農村の中で混ざり合い助け合い切磋琢磨しながら食の舞台に上がっていかねければならなくなりました。

政策は往々にしてトップランナーに視点を据えて施されることが多く、新しい技術やアイデアに長けた若者向に支援策が講じられ、いち早く市場環境に適合していくのを確認できます。

一方で急激な変化に身を委ねることなく地に足のついたまさしく牛歩の歩みで生きていこうとする人の信条も忘れてはなりません。

こうした経営の多様化は、過去に例を見ないほど進化しており、昨年末までの拡大生産に制約を受けないで自由に自らの意思で生産量を決定できる場合には経営はやりやすいのですが、生産量の限定は今までの経営手法の見直しを余儀なくされることとなります。

如何なる態様の経営においても再び「コストダウン」思想を経営の柱に置かざるを得ない状況になってきたのです。

経費の節減を筆頭にして、製造工程の合理化、酪農で云えば乳牛の繁殖能力を高め工程を短縮して生産性を高めることなどが際たるものですが、工業生産のように省力化合理化投資で牧場全体のシステムを変えることや大量生産大量販売の量産効果を期待できない以上、生産量の中に隠されている「品質」の向上によって所得効果を高めることが非常に重要になってきました。

工場でもある乳牛の健康を保ち良質な原材料の牧草を定時定量給与し、規則正しく搾乳する。奇を衒わず当たり前のことを精魂込めて取り組む、むやみに減産体制をおびえることなく自由闊達に自らの意思で経営を行うときは必ずくるのだ、との思いを胸にこの一年を共に頑張りたいと思います。

人が物事をなすに当たっては、目前の事に手ばかりが多く、いたずらに将来のことを思い巡らしていることの愚かさを説く警句もあります。

受難の年にはじつと目の前を凝視しとりくむ、そのためのサポートをしつかり行っていくことを誓い、年頭の挨拶とさせて頂きます。



年頭ご挨拶



不安定な世の中だからこそ、 青年のフットワークで

J A計根別青年部 部長 穴戸 一哉

新年明けましておめでとうございませう。組合員の皆様におかれましては、旧年中より青年部の諸活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、盟友の皆様におかれましては、日頃から青年部活動に積極的な参加を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の青年部総会における役員改選にて、私が青年部長に就任してから早十ヶ月が経過したわけですが、二瓶、鈴木両副部長をはじめとする三役と七十名の部員皆様に支えられ、大変実のある青年部活動を展開することができました。

昨年を振り返りますと、私達青年部は「仲間づくり」活動に重点を置いて事業を展開して参りました。今年は、七名の新入部員を迎え、青年部全体で新たな仲間の加入を祝して新人歓迎会を企画しました。その後も各支部長を中心とする先輩部員が若い部員を積極的に事業へ誘うことで、支部や部員間の連携が

図られ、横のつながりが強化されたと思います。さらに、各支部担当で計画、実施された親睦会行事も、魚釣り大会、ボウリング大会、ソフトボール大会など多くの部員が参加され、友達づくり、仲間づくりという点では大きな成果を得ることができました。

青年部活動の大きな柱となる牛乳・乳製品消費拡大活動では、スプリングフェアをはじめとする五つのイベントにジャンボハンバーグを出店。昨年同様の牛乳無償配布や新たな試みとして取り組んだ手作りチーズの試食、手作り牛乳パック型看板の設置、モデルカウによる搾乳模擬体験などを実施、どれも大好評となりました。年末には、青年部オリジナルのお歳暮贈答用乳製品ギフトの取りまとめを行い、部員自らが注文を取り、箱詰め、発送作業を行うなど四二〇ケース以上の実績を上げました。毎年恒例であるロール看板も「うまい牛乳!!今すぐ飲みたい」のメッセージを掲げ、道

行くドライバーをターゲットとして道々沿いに設置(計根別・中標津)、オータムフェアには部員所有のトレーラーに移動式ロール看板も試作するなど、牛乳・乳製品の消費拡大を消費者に広くPRできたと自負しております。

専門部会におきましては、広報部会により、毎月の広報誌に青年部の活動記録を寄稿するなど、積極的な活動を展開しています。あらゆる行事を広報誌に掲載することで、組合員さんや各関係機関をはじめとする地域の皆様に青年部の活動を理解して頂きたいと継続して取り組んでいるところです。

また、駅伝部会も昨年で四度目の参加となった別海町駅伝競走大会。チームの成績としては例年並みの結果となりましたが、若い世代の頑張りやチームワークの良さを実感しました。一つの目標に向かってチームが一丸となり、部員個々の連帯感と結束力も高まり、仲間づくりや部員の個性と長所を引き出す

重要な役割を果たしております。

新年度に向けては、厳しい酪農情勢が予想されますが、生産調整、米国産牛肉輸入再開、WTO交渉の行方など、私たち組合員にとっては不安を隠しきれない状況となりました。しかし、我々青年部に期待されることは、この厳しい時代を乗り越えるために、今何が求められ、何をしなければならぬか?であります。来月(二月)には、東京方面で開催される幹部研修会や農協学校でのリーダー養成研修など農業や地域を広い分野で考える貴重な研修会へ参加します。これを通じて青年部組織が立ち上がり、自分たちで出来る最大限の活動を模索し、実践して参りたいと考えます。

最後に、昨年は交通事故により計根別から盟友を含む三名の尊い命を失いました。今年は、将来ある若い命を悲惨な交通事故から守らなければなりません。部員、組合員、地域の皆様には交通ルールを遵守され、安全運転に対する意識を高め、新たな決意のもと当地域から交通事故の撲滅を図りたいと思います。

本年は、皆様にとって事故や病氣等も無く、穏やかな良い年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

女性部五十周年を迎え 支部との連携強化や 仲間づくりで結束力を高めて

J A計根別女性部 部長 西丸 アヤ子

輝かしい新年の幕明けに、組合員や部員の皆様は、ご家族お揃いで良いお正月を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、女性部員、農協の皆様をはじめとする関係機関各位には、日頃より女性部活動に対して、格別なるご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の酪農経営は、穏やかな天候が続き、牧草収穫作業なども順調に進み、比較的良質なサイレージを確保されたのではと思います。しかし、搾乳農家の減少や夏場の残暑などが影響し、上期は計画を下回る生産実績となりました。下期に入ると繁殖も影響していたのでしょうか？九月頃から回復傾向が見受けられ、計画対比で一〇〇%には満たないものの九十九%強の生産実績で推移されるものと思われまふ。しかし、結果として生産乳量も思うように伸びず、乳代等の所得減少が農家経済を圧迫、営農活動における経費節

減、さらには生活費の見直しなどが強く呼び掛けられる年となりました。

このような状況のもと、昨年の女性部を振り返ってみますと、まず真つ先に思い浮かぶことが、三月の総会にて決定された新三役のことです。新たなメンバー三名を加えた新執行体制により各種事業が計画どおり進められました。私も今年度より女性部長という大役を背負い、自分なりに一生懸命取り組んできたつもりですが、決して一人では何も出来ませんでした。前部長の水沼和子さんも地区会長に就任され、私たち女性部を影ながら支えて頂き、自分をサポートしてくれる仲間（三役、部員）に恵まれたからこそ女性部組織が成り立っていると実感しました。

また、先般開催されたレディースフェスタにおいても事情により出席は出来ませんでした、三役や女性部員皆様の絶大なる

ご協力があり、盛会裡に終了することが出来ました。この場を借りて皆様に深く感謝申し上げます。

新年度も厳しい酪農情勢が予想されます。生乳生産も減産計画が打ち出される時代となりそうですが、女性部も新年度を迎え新たな気持ちで事業に取り組んでいかねばなりません。本年の事業年度もあと二ヶ月となりましたが、親睦・交流会、料理講習会などを含めた各種講習会が予定されています。部員皆様の積極的な参加により、有意義な活動となることを期待します。

また、十八年度については、J A計根別女性部として大きな節目となる設立五十周年を迎えます。昨年九月には、穴戸悦子さんを実行委員長として五十周年記念事業準備実行委員会を設けました。女性部設立から五十年の歴史を祝した盛大なセレモニーが検討され、三役や各支部代表者が一致団結して事業に取

り組み、より充実した内容で執り進められることと思います。

しかしながら、女性部では全体、三層、支部とそれぞれが盛んに活動をして参りましたが、全道、全国的にも部員数の減少には大きな悩みを抱えており、当女性部も例外ではありません。本年は、女性部にとって記念すべき年となりますが、部員や組織の減少傾向に歯止めをかける魅力溢れる活動が求められます。そのためには各支部との連携強化や仲間づくりに心掛け、女性部組織の結束力を高めることが私たち役員に課せられた使命であり、新年度に向けた最大の課題として取り組んでいきたいと思ひます。

最後となりましたが、昨年十二月中旬より全国各地で記録的な降雪量が観測されています。近年は大雪、台風、猛暑、地震など自然災害による被害が多く発生しましたが、今年は組合員、女性部員の皆様、そして地域の皆様が事故や災害も無く、健康な年でありますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



技術・経営の総点検を

北根室地区農業改良普及センター 所長 広瀬 勉

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

皆様には日々の農作業に精を出され、根室農業の発展にご尽力をなされていることに対して、心より敬意を申し上げます。特に貴組合におかれましては、生乳の衛生的品質に対する永年の取組とその成果の大きさは、特筆に値するものと存じます。

昨年を振り返ってみますと、農耕期の天候は比較的穏やかで、作物収量・品質もまずまずであり、家畜管理も順調に進んだものと存じます。また、管内的には知床の世界遺産登録や野付半島・野付湾のラムサール条約登録により、根室の自然が注目を浴びた年でありました。

一方、国内農業面では牛乳の消費が伸びず、脱脂粉乳及びバター在庫過剰問題のため、生

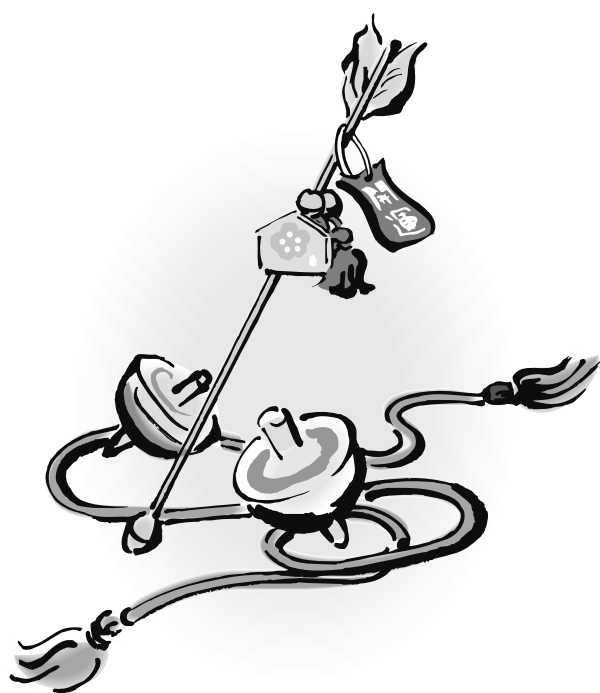
乳出荷量調整の段階に至りました。また国際的には、米国産牛肉輸入の再開やWTO・FTAの進展など、国内農業への影響が懸念されているところです。

このような情勢にあつて、『経営体質の強化』が重要な課題の一つと存じます。経営体質強化のためには、技術・経営管理の総点検が必須です。農業経営は多くの部門・要所から成り立っていますが、一つでも弱点があると経営成果が伸び悩むこともあります。しかし弱点に気づき、これを改善することにより、経営が伸びる可能性が大きく高まります。この視点に立って、普及センターでは今年度中に酪農肉用牛近代化計画にも応用できる積算資料を作成いたします。次の段階では、技術点検・経営管理点検の参考になる指標を皆様に提示したいと考えております。

さて、国内農政の面では、食料・農業・農村基本計画が昨年策定され、北海道も「北海道農業・農村ビジョン21」を策定しています。このビジョンでは四つの視点(食、環境、人、地域)を強調しています。これらの構想は、農業の多面的機能・役割にも注目しており、地域活性化の原動力の一つとして、農業に

期待を寄せています。特に根室管内では、農業が基幹産業の一翼を担っており、地域経済の牽引役でもあります。

これらの取り組みの主役は『人』です。改めて「根室農業の基礎を築いた先人への感謝」そして「次代への基礎づくりと引継」を基本理念として、今を「協同の精神」と「知恵の結集」で前進することが大切です。皆様のご健勝で新たな第一歩を印され、実り多き年でありまうご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



中標津農業高等学校

中標津農業高等学校 3年 倉田 瑠美

全道を代表してブラジルへ、派遣団の副代表として1月に出発



このたび、倉田瑠美さん（養老牛）が、全道十名枠で募集された「北海道教育委員会海外派遣事業」に副代表として選考され、一月七～二十八日の日程でブラジルに向けて出発することとなった。

海外派遣事業とは、北海道産業教育振興会が主催となり、諸外国の産業事情視察や現地で活躍する日系人との交流が目的に開催されるものです。また、道内の農業、水産、工業、商業などの職業科を持つ高等学校を対象として生徒を幅広く募集、参加人員にも定数を定め、厳しい書類審査のもと道内から十名の生徒が選考され、海外へと派遣する事業です。本事業を担当した中標津農業高等学校尾崎先生は「本校から生徒を推薦したのは十年ぶりです。瑠美は、成績も優秀で

すが、生徒会役員を務め、校内実績発表でも全道大会へ出場するなど、何事にも積極的に取り組む姿勢が高く評

価されたと思います」と話され、全道二十四名（非公認）の参加希望者の中から、その厳しい審査を経て、副代表として選考された瑠美さんを讃えた。

瑠美さんからは「尾崎先生から海外派遣の話しを聞き、行ける可能性があったのなら応募してみようと思いました。本当に選ばれた時はビックリでしたが、まさか副代表として参加することになるとは今でも信じられません。でも、みんなを代表してブラジルへ行くのですから、現地の食文化と肥沃な土地で農業が営まれ、そこで生産される作物がどのようにに栽培され、育っていくのか？を学んできます」と元氣一杯に現在の心境と海外研修への抱負が話された。



本事業を担当した尾崎先生

ブラジルでは、主に当地で活躍する日系人との交流、コーヒー農園視察、協同組合とのつながりを目的とした研修会やファームステイが予定されているそうです。派遣事業を通じて、ブラジルで学んだ知識を母校や地域のために活かされることを期待します。倉田瑠美さん、ブラジルでの三週間が有意義な研修となることを願っています。



会場では試食用のチーズとソーセージでPR



店頭では、開場と同時に大混乱。販売品も予定時刻を待たずに全て完売



農業高校とAコープがタイアップ、地場産品と乳肉製品の消費拡大を

中標津農業高等学校とAコープ計根別店では、初めての試みとなる消費拡大イベント「計根別感謝祭」を十二月二十二日Aコープ前特設会場にて盛大に開いた。このイベントも日頃よりお世話になっている地域の皆様に感謝を込めたセールとなり、地場産品や乳肉製品の消費拡大を目的として企画された。

当日は、開場と同時に販売品を買い求めるお客様で大混乱。また、販売品も通常販売価格より一律五十円値引いた大特価で提供され、店頭には並べられた乳肉、農産加工品、花などが飛ぶように売れた。さらに、会計時には、順番待ちが続くほどの盛況ぶりを見せ、予定終了時刻の午後二時を待たずに全て完売することができた。

また、会場付近では生徒によるチーズとソーセージの試食も行われ、農業高校で作られたオリジナル商品のPRがなされ、試食された買い物客から好評となった。

2006年は 私たちの年です

組合員さんご家族の年男・年女に登場してもらい、
抱負を語っていただきました。



漆原 功さん
今年も良い年でありますように



本田 正美さん
トムと一緒に良い年を



桜井 理恵さん
家族旅行に行きたい!!



西塚 知也さん
昨年以上の努力を・・・色々と



滝本 和男さん
今年も家族が健康でいれば・・・



滝本 五四子さん
家族全員が健康で無事に過せれば



小林 均さん
ちよつと実家に行ってみようかな?



近藤 とみえさん
家族が健康で暮らせる年であれば



長谷川 正 美さん
また一年達者で暮らせたら



加藤 政 美さん
今年も健康を願って



波田野 満さん
何事も無く平穏無事な一年を



小栗 節 子さん
皆が健康で
明るく良い年でありますように



笠井 富士子さん
今年も健康であれば...



笠井 義 明さん
富士山に魅せられて早七年、
今年も富士山の写真が撮れれば...



長谷川 孝 二さん
健康第一!!

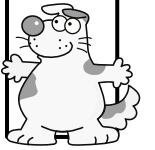


有原 国 男さん
家族全員が元気に過ごせたら...



杉本 聡 史さん
押忍!! 番長!!

養老牛地区



下川原 久美子さん
健康を第二に過します



下川原 康 弘さん
順調経営!!

影山 静 子さん
家内安全ノ百歳まで長生きしたい



影山 智さん
経費節減ノ鉄筋とセメント減らそうノ



太田 隼 樹さん
三区リベンジ!!今年は区間賞を:



遠藤 汐 梨さん
みんなをまとめられるようになりたい!!



影山 玉 子さん
今年も健康で良い年になることを願います



本田 和 雄さん
家族みんな健康で過ごせますように



百崎 イ ヌさん
家族の迷惑にならないよう体に気をつけて過ごしたいと思います



寺坂 信 秀さん
家族みんな元気に楽しく過ごしたい



株田 悠 介さん
早く結婚したいです



武田 千 代さん
家族と牛もみんな元気で過ごせますように



中村 博さん
体に気をつけて仕事を頑張ります



株田 邦 枝さん
家族が健康で過ごせますように



百崎 恵美子さん
健康で喜ばせますように



佐藤 トキ子さん
家族が元気で過ごせますように



小久保 ちほさん
もうチョット背が大きくなりたい



大戸 一哉さん
家族全員健康で...



加藤 純子さん
頑張っていくましよう!!



小林 誉子さん
元気で楽しい年にしたい



二瓶 宏子さん
家族全員健康で暮らせますように



佐藤 雄太さん(右)
愛犬と一緒に「目指せ500トン!!」



白川 山本 友美さん
三人目作るぞ!!



大澤 智子さん
マイペース



松本 貴志さん
牛も家族も健康に!!



信 夫 遥さん
中学生になると頑張ります!!



北村 亘さん
今年は成績(勉強)を上げたい!!



河合 明美さん
今年も健康で頑張るぞ!!

女性部独自の交流事業、 自慢の料理と演芸発表など今年も大好評 ～ J A 計根別女性部 レディースフェスタ～

女性部では、支部・部員相互の交流を目的として、J A 計根別女性部独自の最大イベントである、「レディースフェスタ」を十二月七日中標津町交流センターにて盛大に開いた。

レディースフェスタは、前日から会場や料理などの準備が進められ、余興については忙しい時期にも関わらず、何ヶ月も前から構想を練り、支部毎に昼夜を問わず練習が続けられたようです。

当日は、女性部員約八十名が参加。支部毎に用意された試食コーナー、リースをはじめとする展示品の数々、チャリティーコーナー、略対の提供によるチーズ試食コーナーなど、女性部ならではの企画で会場が埋め尽くされた。

開会を告げる主催者挨拶では、女性部長を代行して中垣副部長から、部長は事情により欠席されましたが、皆様の努力によりレディースフェスタが無事開催されたことを感謝します」と話された。

また、来賓代表挨拶では富田参事が「新年度の生乳生産も減産計画が予想され、厳しい情勢に立ち向かうためにも女性部が農協等の組織討議に参加して欲しい。本日のレディースフェスタで有意義な一日を過ごしてください」とレディースフェスタ開催の慶びと新年度に対する女性部への期待が寄せられた。

その後は、試食タイムとなりバイキング形式で各支部自慢の料理を試食。取り皿いっぱい昼食を頂く光景がとても印象的でした。

さらに、空腹も満たされた頃、皆様お待ちかねの余興となり、各支部からの演芸発表となった。歌や踊り、演劇など各支部の個性が発揮され、レディースフェスタを大いに盛り上げた。また、今年に関しては偶然にも六支部中三支部が手品となりましたが、支部毎に趣向が凝らされ、見る人を楽しませる芸が次々と披露された。

最後に、レディースフェスタを盛り上げてくれました女性部員の皆様、本当にありがとうございました。

演芸発表

計根別支部／手品
上標津支部／マジック
西竹、東西竹支部／世界に一つだけの花
養老牛支部／サザエさん
大成支部／①マツケンサンバ
②おさかな天国 de フラダンス
本別支部／手品



閉会挨拶：株田監事



西竹、東西竹支部：
世界に一つだけの花



大成支部：マツケンサンバ



上標津支部：マジック



計根別支部：手品



養老牛支部：サザエさん



大成支部：
おさかな天国 de フラダンス



本別支部：手品



試食コーナー

計根別支部／豚汁
上標津支部／バラエティーゼリー
西竹支部／おでん
東西竹支部／マドレーヌ
養老牛支部／パフォーマーケーキ
大成支部／じゃがいものピザ風 & カボチャの茶巾絞り
本別支部／サラダ&チーズケーキ



試食品を紹介する各支部支部長



会場には、80名の女性部員が大集合!!



試食タイム!! とり皿一杯の料理を片手に...



酪対によりチーズ・ヨーグルトが提供



じゃがいもピザも大人気!! 品切れゴメン!!



各テーブルでは、会話と食が進みました



チーズ・ヨーグルトにも人気集中!!



部員手作りの見事な作品が飾られ、参加者を楽しませた



フレッシュ(養老牛)手作りのZOOと恐竜!!



活動写真も展示しました



いよいよお待ちかねの試食タイム!! イエー!!



子供と一緒に菓子づくりにチャレンジ!!

クリスマスに向けて お菓子づくり

～上標津フレッシュミズ～

上標津フレッシュミズでは、手作りのお菓子でクリスマスを楽しもうと十二月二十日中標津町交流センター調理室にてお菓子づくり講習会を開いた。講習会は、後藤めぐみさんを講師としてケーキやシュークリーム作りを行った。作業前には、講師の後藤さんからケーキづくりのポイントがわかり易く説明され、参加者もケーキづくりのコツを学び、一斉に作業は進められた。出来上がったケーキとシュークリームは、参加した部員と子供たちで完食。幼稚園から帰ってきた子供たちもお腹一杯にケーキとシュークリームを食べて大満足の日となりました。最後に、クリスマスは手作りのケーキが参加者の自宅で作られるのでしょうか?とても楽しみです。



見た目も味も完璧に仕上がりました

十二月二十日、計根別支部では女性部五十年記念事業を今年に控え、その一つとして女性部全体で取り組んでいるパッチワークづくりにチャレンジした。計根別支部にはパッチワークの経験者はいませんが、みんなで知恵を出し合い、持ち前のチームワークで順調に作業は進められた。しかし、パッチワークづくりの作業途中で、手作りのたこ焼きが登場。その場の雰囲気も一転し、パッチワークのみならず、たこ焼きを食べながら、昼食と雑談を楽しむ支部活動となりました。



パッチワークもここまで進みました

楽しくパッチワークに挑戦!!

～女性部 計根別支部～



たこ焼きを囲んで楽しそうな参加者たち



親切な指導が参加者から大好評



みなさんのリースは完成しましたか？

今年もリース作りに挑戦！

～ＪＡ計根別女性部 お花講習会～



十二月一日（木）
農協ふぁーまっく二階にて、女性部によるお花講習会を開いた。

講習会には、清里町「花いちもんめ」代表の中平さんをはじめとする四名のスタッフを講師として招き、女性部員二十三名の参加により、ヨシを使用したフクロウのリースづくりに挑戦した。

参加者は、細かい作業で悪戦苦闘していましたが、みなさんワイワイと楽しみながら取り組み、最後はフクロウの鼻と目をつけて無事完成！

寄り目のフクロウや鼻が高いフクロウなど個性豊かなフクロウが出来上がり、皆さん大満足。とても楽しい講習会となり、参加者から大好評でした。

白黒通信

計根別乳牛改良連合会



十一月三十日、農協和室にて乳牛改良講習会を開催した。
当日は、オールジャパンブリ「ダーズサービス営業部課長武田秀臣氏を講師として招き、インターブル加盟国の種雄牛成績の見方や今後注目されるドナー牛・種雄牛の系統、さらには現在注視されている近親交配の考え方などを学び、わかりやすい説明で参加者から好評を得た。

種雄牛成績の見方や近親交配の考え方を学んだ乳牛改良講習会



資料を片手に真剣な表情で講演を聞く参加者



講師：武田秀臣氏

参加会員は二十六名とやや少ないものの、今後の乳牛改良に役立ってくれることを期待します。特に、近親交配については十分な配慮が必要であり、酪農課と連携して現場で近親係数を算出できる方法を検討したいと考えています。

尚、一月二十三日には近親交配等についての講習会を企画しておりますので会員皆様のご出席を宜しく願います。



ブースでは、子供たちが
ヨーグルトを試飲



来場者による「ききチーズ大会」



テーブルを囲んで600名がチーズ料理とワインを楽しんで



別室では、各JA青年部の
活動写真を展示



モデルカウによる搾乳体験も
大人気



受付には各JA女性部事務局の
スタッフ勢揃い



ウシくんも牛乳でカンパイ!!



ホクレンパールライスによる
道産米のPR



開会挨拶では、「牛乳」に相談、

参加者600名がチーズとワインを堪能、 大きな成果を上げた消費拡大イベント

消費拡大イベント「チーズ・DE晩ごはん」



豪華賞品が用意された
お楽しみ「大抽選会」



着ぐるみの正体は
青年部長？鹿野くん？



大抽選会で当選番号が気になる参加者

根室地区JA青年部連絡協議会と根室地区酪農対策協議会では、地域の皆様にチーズの美味しさを伝え、乳製品の消費拡大に努めようと十二月二十一日午後六時より中標津町寿宴にて乳製品消費拡大イベント「チーズDE晩ごはん」を盛大に開いた。

当日は、前売り券を購入した地域住民約六〇〇名がイベントに参加。主催者である地区青協北村会長、地区酪対高橋会長の挨拶で開会した。会場内二十五テーブルには八種類のチーズ料理、ワイン、牛乳などが豪華にセットされ、立食形式でイベントが進められた。

参加者は、チーズ料理やワインを堪能し、お腹も満たされたタイミングで、「ききチーズ大会」と、大抽選会が行われた。さらに、別室では、モデルカウによる搾乳模擬体験、雪印乳業や中標津農協のブース協力もあり、ヨーグルトなどの試飲やビデオが上映された。

イベント終了後は、参加者全員にバター、チーズ、お米などをお土産として手渡されるなど参加者から大好評となりました。



主催者を代表する二人
地区酪対会長
橋勝義氏



地区青協会長
北村 篤氏



各地域を代表した盟友が青年の主張を…

全道の盟友600名が大集合! 農業に対する想いや 青年部活動の本質を学んだ 全道大会

第54回
全道JA青年部
大会



会場で活動発表を聞く参加部員



ステージ前にて参加者の記念撮影!!



懇親会では、みんな楽しく「カンパイ、



各地区から選抜された「腕自慢」大集合!!

北海道農協青年部協議会では、全道JA青年部組織の結束強化と活動の促進を図り、JA運動推進と部員家族の社会的経済的地位の向上に寄与するため、十二月一日～二日札幌パークホテルにて第五十四回全道JA青年部大会を開いた。

青年部大会には、全道から約六〇〇名の盟友が集い、当青年部からも五名の部員が参加した。

大会初日は、青年の主張と活動実績発表から進められ、各地区を代表した盟友が自らの考えや想いを伝え、地域で生産される農畜産物の消費拡大を呼び掛け、実践する青年部独自の活動が紹介された。

さらに、四テーマ(米、畑作、酪農、食の安心安全)を設けた分科会が開催され、参加者はそれぞれの会場へと移動。討議のポイントに沿って、盟友

個々の考え方を学ぶ貴重な体験となった。

その後、参加者全員での懇親会となり、今年のアトラクションでは、アイムレスリングが企画されるなど会場を大いに盛り上げ、青年部、部員間の親睦交流も深まる懇親会となった。

大会二日目は、元プロ野球選手の大沢啓二氏を招き「人生苦あれば楽あり」というテーマで記念講演が行われた。

講演は、大沢氏の楽しい野球談話と自慢の歌声が披露され、時の経つのを忘れさせるほど参加者を魅了した。

最後に、農業に対する盟友それぞれの考え方、青年部活動の本質、盟友間の親睦交流など有意義な研修内容となり、青年部大会を通じて参加者(部員)はさまざまなものを学び、今後の青年部活動に活かされることを期待します。



根室代表 高島くん VS 十勝代表の準優勝者



ステージで自慢の歌声を披露する大沢氏

部員間の親睦を深めたボウリング大会

青年部では、支部や部員間の親睦を深めることを目的として、十二月六日ウコウボウルにて親睦ボウリング大会を開いた。

また、当日は十二日に予定されている地区青年部スポーツ交流会（ボウリング）への出場者を決める予選会を兼ねての開催となった。

ボウリング大会は、青年部員四十一名が参加。養老牛支部の担当により二ゲームのトータルポイントで競技が進められた。会場では、ストライクやスペアを取るたびに各レーンから大きな歓声と拍手が巻き起こるほどでした。

また、青年部も若い世代の部員が増えていますが、各レーンでは先輩部員との交流も深まり、仕事やプライベートの会話で盛り上がる光景も見受けられ、とても有意義なものとなりました。

【ボウリング大会結果】

優勝 北村 篤くん（本別）
準優勝 穴戸 一哉くん（大成）
三位 本田 勉くん（養老牛）



完全にヤラセ!!手からボールが離れませんでした



成績発表!!表彰式の進行は担当支部の中村くん（養老牛）



レーンを見つめてゲームを楽しむ青年部員

親睦とは言え、チームの勝利を

目指して熱い戦いが!

根室地区JA青年部連絡協議会スポーツ交流会

十二月十日、根室地区JA青年部連絡協議会では、ボウリングを通じて青年部や盟友間の親睦を深めるべく、毎年恒例となったスポーツ交流会をウコウボウルにて開いた。

当日は、管内の青年部員が集い、十九チーム五十八名が参加。当青年部からは、厳しい予選を勝ち抜いた三名、二十代前半の新人三名が交流会にエントリーした。

交流会は、二ゲームのトータルポイントでの決戦となり、親睦とは言えチームの勝敗を決める熱い戦いとなった。

しかしながら、各レーンでは盟友同士の会話も弾み、交流も深まるなか楽しいボウリングとなった。

結果は、昨年の雪辱を果たすべく、優勝を目指して頑張りましたが、惜しくも青年部Aチームが五位に終わりました。ちなみに地区青協の北村会長（本別）は、個人二位、ベストスコアを獲得したようです。



単組の名誉をかけてゲームスタート!!



計根別選抜チーム!!なぜか「チッチキチー」、

THE FRIEND CONNECTION

佐藤 恵二(本別支部)
S40.3.19生 40歳

Q1. あなたの趣味は？

A1. モータースポーツ全般。特にスノーマービル!!

Q2. あなたの特技は何ですか？

A2. 昔は違法改造!!でも今は機械修理です。

Q3. 好みの芸能人は？

A3. 幸田来未(クラブのママさんみたいだから)

Q4. 将来の目標は？

A4. 安定した酪農経営

Q5. あなたの夢は何ですか？

A5. スーパーAクラス
(モータースポーツの世界では最高峰のライセンス)

Q6. 友達を紹介してください

A6. 北村 篤くんです。

Q7. なぜ北村くんを選んだのですか？

A7. 近所の好青年だから…



今年一年ご苦労様でした。また来年も頑張りましょう!!カンパイ!!

本年の慰労と
新年度に向けて
結束力を高めた
望年会



料理と会話を楽しむ参加者たち

先日開催された全道青年部大会のビデオを上映、各地域の青年部活動が紹介された。

その後は、時間の経過とともにお酒も進み、時の経つのも忘れて楽しい時間を過ごしました。

本年度の事業活動に対する慰労と新年度に向けて青年部の結束力を高めるべく、十二月十二日ホテル養老牛にて毎年恒例となった青年部望年会を盛大に開いた。

望年会には部員五十一名が参加。青年部長から「今年の消費拡大事業では皆様のご協力により大きな成果を挙げた。今後も積極的に青年部活動に参加してください」との挨拶で開会された。各テーブルでは、一年の活動を振り返り、今年の反省と成果を部員それぞれが確認。ステージにおいては、

シリーズ第22弾 逸品館

“ALLIS CHALMERS”



このたびの逸品館は、新年を飾るに相応しいトラクター“ALLIS CHALMERS”の紹介です。本機は、昭和31年計根別農協に初めて導入されたトラクターであり、当時の所有者は高橋節郎前組合長。昨年まで前組合長がD型ハウスで大切に保管されていたものですが、縁あって当農協のある組合員さんがトラクターを譲り受け、10月には導入当時の姿を見事に復元しました。トラクターを修理した某農機具メーカーもカレンダーに記載された写真をもとに9ヶ月間かけての大仕事。特に部品調達は困難を極め、一部廃盤となった部品も代用品にて修理されるなどストップランプはハーレーダビッドソンのものだったとか…？

また、このトラクターはエンジンにも特徴があり、灯油で予熱、ガソリンで始動するという仕組みでした。オーナーは「小学校3年生の時に高橋前組合長が自分の畑をこのトラクターで起こしてくれたのを覚えている。今はトラクターの能力も上がり、農作業には適さないが一生大切にしたい」と話してくれました。計根別の歴史を刻み、沢山の思い出が語り継がれる貴重な逸品です。今後も地域の財産としてトラクター（ALLIS CHALMERS）をいつまでも大切にしてください。

忙しい時期にも関わらず取材にご協力して頂き、本当にありがとうございました。



ALLIS CHALMERS

年 式／昭和31年 購入年／平成17年1月

購入価格／？ 円

修理費用／？ 円

※購入、修理費用を知ることはできませんでしたが、かなりの金額が予想されます。

サイレージの傾向と乳検情報を学び、 乾乳期の飼養管理で周産期病の予防を…

平成17年度ステップアップ講座



宮脇氏を講師にサイレージ分析結果を学ぶ参加者



二日目の講師を務めた ホクレン畜産技術研究所 尾形氏



講義に集中する青年部員。乾乳期の飼養管理を学んで…

計根別農協では、若年層の酪農後継者に対して営農技術と知識の向上を図るべく、十二月五～六日の日程により、昨年から継続して開催しているステップアップ講座を農協会議室にて開いた。

ステップアップ講座初日は、酪農後継者二十八名、職員六名の計三十四名が参加。講師には、ホクレン畜産生産課の宮脇氏を招き、二〇〇五年一番草サイレージの傾向を学んだ。特に、今年のサイレージ（キザミ）では収穫時（調整）の降雨により水分が高め、蛋白と溶解性蛋白いずれも高く、産乳性は高そうであるが、エサの消化スピードに十分な注意が必要とのことだった。また、カリの数値も高く、近年の堆肥やスラリーなど投入

量の増加が影響しているのでは？と判断された。

その後、「乳検情報の活用方法」と題してホクレンの金内氏が講師を任された。乳検成績（牛群）を基に繁殖成績をメインとした数値の見方が説明され、参加者は乳検情報のさまざまな活用方法を学んだようです。

二日目は、ホクレン畜産技術研究所の尾形氏による「乾乳期の管理」と題した講義となった。ここでは、乾乳の必要性と基本を再確認し、期間中の飼養管理やBCSの重要性を学んだ。

最後は「乾乳期からの準備をきちんと行い、食い込める腹を作り、周産期病の予防に努めよう」とのまとめで講座を終了した。

元気一杯の 餅つき大会、 出来立てのお餅を 食べて大満足

十二月十日、計根別生涯学習センターでは、計根別連合町内会、計根別老人クラブなどの協力により毎年恒例となる「親子餅つき大会」を中標津町交流センターにて開いた。

当日は、子供から大人まで元気一杯に餅をつき、出来上がったお餅で雑煮やきな粉餅など数種類のお餅料理が振舞われ、出来立ての美味しいお餅を食べて参加者も大満足。一足早いお正月気分を満喫したようです。

また、餅つきの、白も貴重なものであり、計根別地域に残された最後のひとつと聞いております。

これからも地域や子供たちのために、美味しいお餅と餅つきの楽しさを伝え、計根別の伝統行事となることを期待します。



子供たちも美味しいお餅でお腹也大満足!!



大人も子供も餅つきを楽しむ一日となった

産乳性は比較的高いが、繊維の消化に難があり 採食量には十分な注意が必要

計根別農協2005年産1番草サイレージ栄養成分比較

本年も酪農経営に欠かすことの出来ない粗飼料に迫り、生乳生産に大きく関わるサイレージの成分及び品質等について調査した結果をご報告致します。

調査した内容は、昨年11月にサンプルを回収した今年の1番草サイレージ60検体。加えて組合員皆様が多量に採集したサイレージ60検体の合わせて120検体により集計させて頂きました。

また、今年のサイレージの特徴を別表のとおり平均値にて公表致しますので、飼料給与及び今年の粗飼料調整の参考にして頂ければ幸いです。

分析成分			計根別 キザミ平	計根別 ラップ平均	中標津平 平均	全道平均
水分	DM	%	78.26	49.17	71.76	69.91
乾物		%	21.74	50.83	28.24	30.09
pH			4.55	4.90	4.54	4.54
分析成分(乾物中)						
粗蛋白質	CP	%	12.59	12.18	10.83	11.44
溶解性蛋白質	SIP	%	5.89	5.12	4.67	4.99
〃	〃 CP	%	46.78	42.04	43.12	43.62
酸性デタージェント不溶蛋白	ADICP(BP)	%	1.23	1.30	1.18	1.23
中性デタージェント不溶蛋白	NDICP	%	3.08	3.50	2.39	2.56
酸性デタージェント不溶リグニン	ADL	%	4.93	4.92	4.68	4.56
正味エネルギー	NEL	Mcal/Kg	1.22	1.21	1.09	1.11
可消化養分総量	TDN	%	59.40	59.37	55.64	56.25
細胞内容物質	OCC	%	27.96	27.80	25.74	26.55
細胞壁物質	OCW	%	64.54	65.20	67.41	66.35
高消化性繊維	Oa	%	9.01	9.05	8.17	8.56
低消化性繊維	Ob	%	55.53	56.14	59.24	57.79
酸性デタージェント繊維	ADF	%	38.45	38.69	40.06	39.46
中性デタージェント繊維	NDF	%	63.53	64.14	66.23	65.24
非繊維性炭水化物	NFC	%	15.85	16.91	14.15	14.31
デンプン	STA	%				
粗脂肪	EE	%	3.59	3.24	3.11	3.24
カルシウム	Ca	%	0.35	0.33	0.36	0.36
りん	P	%	0.23	0.21	0.23	0.23
マグネシウム	Mg	%	0.16	0.15	0.15	0.15
カリウム	K	%	2.41	2.18	2.04	2.17
当量比			2.16	2.07	1.83	1.93
有効蛋白質	AP	%	11.36	10.88	9.65	10.21
粗繊維	CFib	%				
粗灰分	CAsh	%	7.49	7.00	6.85	7.10

選択分析1結果

分析成分(乾物中)						
乳 酸	Lac	%	0.78	0.41	0.93	1.01
酢 酸	Ace	%	0.61	0.08	0.55	0.52
酪 酸	But	%	0.1	0.08	0.22	0.21
アンモニア態窒素/全窒素	NH3-N/TN	%	10.15	4.82	11.16	10.65

選択分析2結果

分析成分(乾物中)					
硝酸態窒素	NO3-N	%	0.01	0.01	0.01

分析値の見方

○水分：キザミであれば60～75%、ラップであれば50～60%が目安

○pH：4.2以下であれば高品質サイレージと判断される

○蛋白質：高ければ高いほど、産乳性も高くなるが、飛節の腫れや軟便等の原因にもなる
グラス中心の飼養管理をしている地域なので、現実的には11～13%が扱いやすい
マメ科率が高い程蛋白質は多くなり、それと同時に消化スピードも上がるため、乾物摂取量が高くなる
溶解性蛋白質が45%を越えると、飛節の腫れや軟便、MUNの上昇などに注意

○TDN：60%以上が推奨値となる

○Oa：Oaが高いほど繊維の消化性は良いと判断。10%くらいが目安

○繊維：NDFが多くなると採食量が低くなる
早刈りやマメ科率が高くなるとNDFは低くなるため、収量が確保できるのであれば早めに刈り取りを開始し、適期で刈り取りを終了することが望ましい。

○NFC：粗飼料中の糖・デンプンの割合。高いほど良い

○乳酸：通常、無添加のサイレージでは1.5程度。乳酸菌添加で2.0～2.5%。この数値が高ければ高いほど良いわけではなく、適正範囲内に入っていることが重要

○酢酸：自然界に存在する乳酸球菌が活動すると乳酸と同時に生産される。
乳酸よりも少なければ良い。

○酪酸：サイレージ調整時の密封遅延、鎮圧不足によって多く生産される基本的には未検出が望ましい。

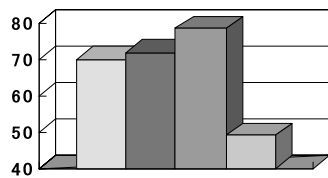
○アンモニア：酪酸発酵したサイレージではアンモニア態窒素も多く生産される。10%以下が目標

○硝酸態：全道平均と大差なければ問題なし。硝酸態窒素が多い場合は、硝酸塩中毒を起こす場合がある。乾乳後期牛用にイオンバランスをとるための指標。

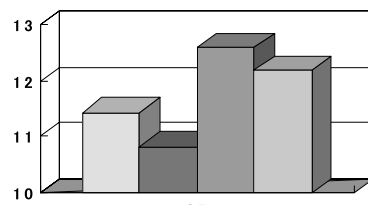
【まとめ】

1. キザミは高水分、ラップは低水分に仕上がっており、共に乾物摂取量が制限される可能性あり。
2. キザミは高CP、高SIPであり、低NFCという傾向なので飛節の腫れや軟便、MUNの上昇に注意が必要。
3. Kが高いため、乾乳後期牛への給与時は、低Ca血症などの周産期病に注意してください。
サイレージ分析結果でKの値が高い(全道平均以上)場合は、土壌分析を行い施肥内容を見直すことが重要と考えます。
4. ADF、NDFの値は例年並みですが、Oaの値が低いことから消化性の低い繊維であることが予想されます。
採食量には十分な注意が必要です。

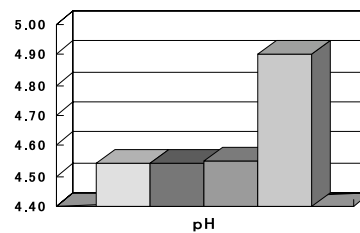
□ 全道 ■ 中標津 □ 計根別(キザミ) □ 計根別(ラップ)



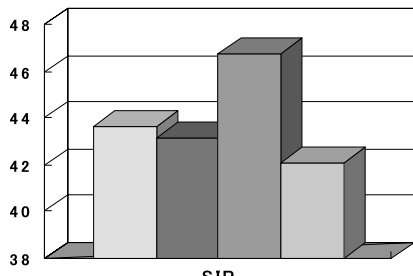
・キザミ高水分、ラップ低水分
～ともに乾物摂取量が低下する可能性



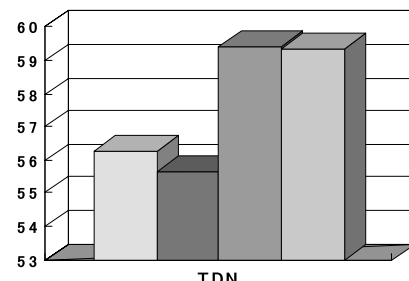
・いずれも高く、産乳性は高いと推測される



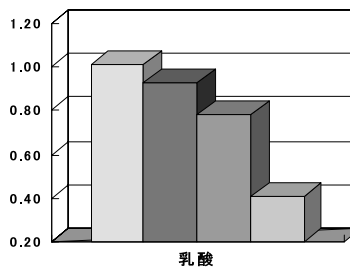
・キザミは比較的良好、ラップは高い
～目標とするのはpH4.0～4.2



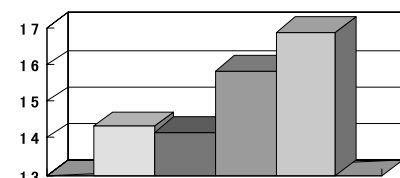
・キザミは高く、ラップは低い
～キザミでは飛節の腫れやMUNの
MUNの上昇に注意



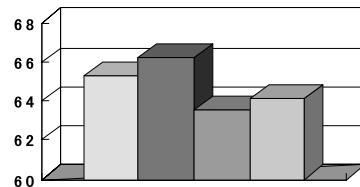
・ともに高め
～キザミではCPの値に対して少し物足りないが
グラスでこの値であれば良好



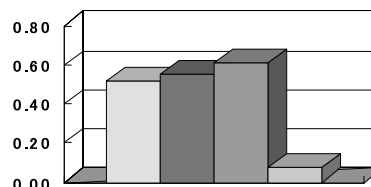
・共に低いが、特にラップで低い
～共に水分が影響か？



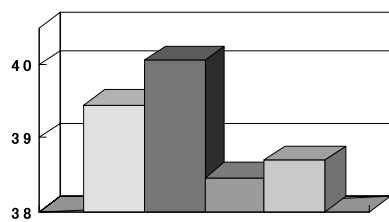
・キザミはCPとのバランスを考えると低め
・ラップは高い
～キザミは発酵中に糖分をロスした可能性
～5月の低温による光合成不良の影響？



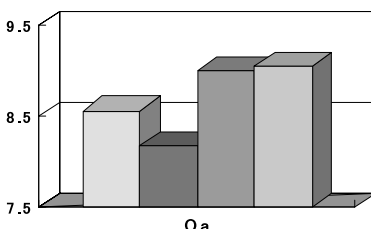
・いずれも低め
～採食量が制限されにくく、食い込みの上昇が
期待されるが…



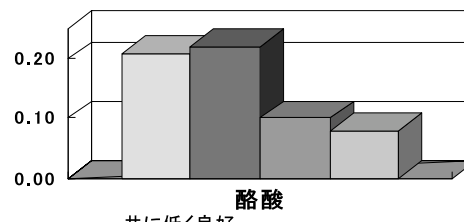
・キザミで高く、ラップで低い
～キザミは高水分の影響か？



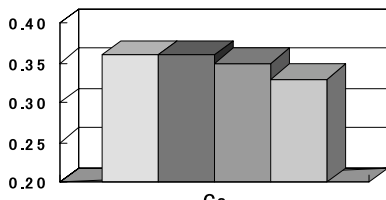
・いずれも低い傾向
～溶解されにくい繊維が少なく、消化性は高いと
予想されるが…



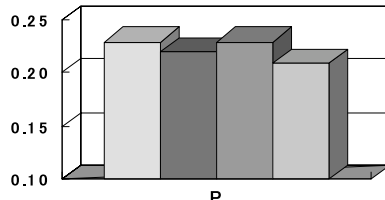
・繊維の硬さの割りに低め
～実際の採食量に注意が必要



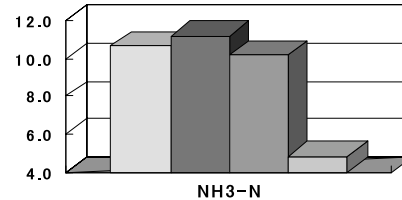
・共に低く良好
～未検出が目標



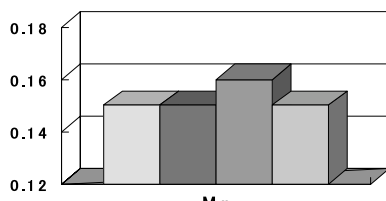
・ともに低め
～マメ科率が低いことが予想される



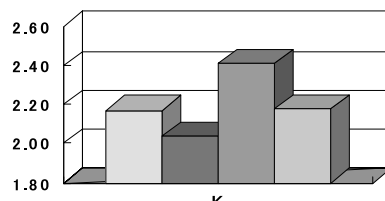
・いずれも適正



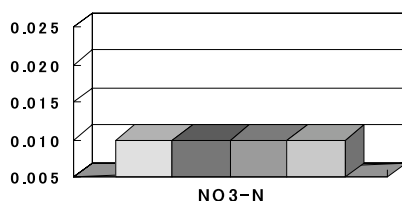
・キザミは高く、ラップは低い
～キザミは高水分の影響も



・例年より少し少ない



・非常に高い
～乾乳後期牛への給与には注意
～糞尿散布の問題？



・共に低く問題なし



交通安全情報



スリップによる交通事故が多発！

本格的な冬を迎え、凍結路面によるスリップ事故が多発しています。最近発生した交通事故の原因で多かったものは次のとおりです。

- ★ 車間距離を取らなかったため、右折で減速した前車に追突した。
- ★ 交差点手前で事前に減速しなかったため、一時停止できなかった。
- ★ 急なハンドル操作をしたため、スリップして対向車線にはみ出した。
- ★ カーブ手前で十分に減速しなかったため、路外に逸脱した。

このような交通事故を防ぐため、次の点に注意しましょう。

- 「急発進」「急加速」「急ハンドル」「急ブレーキ」など急がつく運転操作は絶対しない。
- 路面が乾燥していた時の倍以上の車間距離を取る。
- 橋やトンネルの入口付近、防風林の日陰は日中でも凍結していることが多いので事前に減速する。
- 交差点、カーブの手前でも事前に十分に減速する。
- 昼間晴れた日は、夕刻から翌朝にかけて特に路面が凍結しやすいので注意する。

シートベルトを着用しましょう！

交通事故が起きた時、あなたの命を守るのはシートベルトです。運転者も同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。

シートベルトの着用率向上のために、警察は町内で取締りを強化しています。



～デイ・ライト(昼間点灯)を実践しましょう。～
 デイ・ライトは、昼間に前照灯を点灯(近目)することにより、自らの交通安全意識を高めるほか、他の運転者や歩行者等に自車の接近を知らせて注意喚起するもので、事故防止に非常に効果があります。

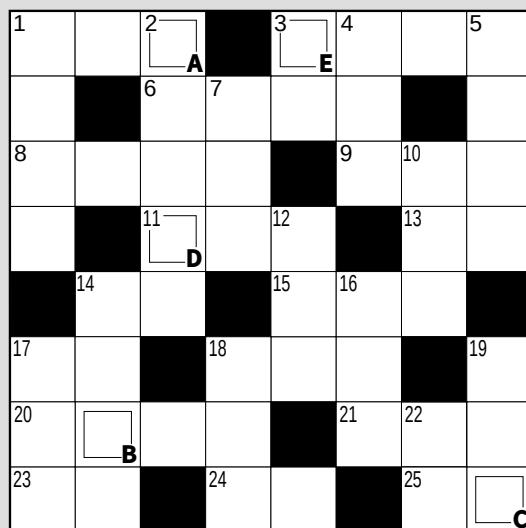
↑タテのキー

- 1 精米をしてない米
- 2 おそなえ
- 3 ○○紙細工
- 4 晩ご飯
- 5 アマチュア
- 7 他人を助けること
- 10 植物の樹脂の化石
- 12 慶応と大正の間
- 14 紙を張った日本の雨傘
- 16 こんなクローバーを見つ
けるとうれしい
- 17 ○○○の策
- 18 ひとりだち
- 19 目の中心の黒い部分
- 22 張りすぎると嫌われるこ
とも

➡ヨコのキー

- 1 ○○○美人
- 3 途中で止めること
- 6 絵を売買する職業
- 8 全部見えてますよ
- 9 学校から帰ること
- 11 昔の重さの単位
- 13 平和のシンボルとされる鳥
- 14 三味線を弾く時に使いま
す
- 15 やる気
- 17 漢字の読み方のひとつ
- 18 実際にあったこと
- 20 沖縄ではゴーヤーといいま
す
- 21 勉強と両立させなければ
- 23 1月7日は七○○の節句
- 24 缶詰のマグロ肉
- 25 合派手

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントを
さしあげます。なお、正解者多数の場合
は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内
(販売機横)の投書箱へ。または、企画
課までFAX(78-2556)お願いします。

《締め切り》平成18年1月20日まで
当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上



きりとり線

クロスワード
パズル

住 所

氏 名

TEL

答え

A	B	C	D	E

きりとり線

あ と が き

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれま
しては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

さて、先月中旬より全国各地で記録的な降雪量を記録しました。こ
の大雪も二年前の冬を思わせるほどの勢いを感じ、これから冬期間に
おける自然災害には十分な注意が必要と思われます。また、現在の道
路もアイスバーン状態が続く、とても危険な状況となっております。
お正月は何かと気の緩みやすい時期となりますので、お出かけの際は、
くれぐれも車の運転に気をつけてください。

最後に、今年は厳しい酪農情勢での幕明けとなりましたが、十八年
度のスタートを契機に組合員、農協、職員、地域が一つとなって、こ
の大きな荒波を乗り越えていきたいと思ひます。本年も皆様にとつて
事故、病気、災害などには無縁な年となり、大切な乳牛も健康な一年
となることを願ひます。



昭和31年、計根別農協に初めて導入されたトラクター
50年前の雄姿を今ここに蘇らせた ALLIS CHALMERS

なお、詳細につきましてはP22「逸品館」をご覧ください。

記録更新中、

先日、驚くべき記録に挑む牛を発見しました。
その牛は、早坂英夫さん（西竹）所有のハーゲン
ベル ゴールドバック（6歳5ヶ月）。

平成14年2月2日の分娩以降、検定日数は1,403
日となりますが、1乳期の累計乳量がなんと
56,694kgであり、現在も記録を更新中。（12月5
日乳検成績より）

早坂さんは「この牛も今では2番目に年寄り
だけど、人工授精や産前産後の疾病も心配無
いので本当に経済的。我が家の一番の稼
ぎ頭です。もう2年ぐらい頑張ってく
欲しいな」と話していました。本牛と
前人未到の記録に挑む早坂さん、
今後どこまで記録が伸びるか楽しみに
しています。



【ハーゲンベル ゴールドバック 12月乳検成績】

(12.5) M 27.7kg F 4.5% P 3.7% SNF 8.7%
過去最高乳量（日）73.3kg
（累計）M 56,694kg F 3.9% P 3.6% SNF 8.9%



編集／計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係
発行日／平成18年1月1日